

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公表番号】特表 2001-506597(P2001-506597A)

【公表日】平成 13 年 5 月 22 日 (2001.5.22)

【出願番号】特願平 10-524301

【国際特許分類第 7 版】

C 07 C 31/125

B 01 J 29/65

C 07 C 29/16

C 07 C 41/03

C 07 C 43/13

C 07 C 305/06

C 07 C 305/10

C 11 D 1/14

C 11 D 1/29

C 11 D 1/72

【F I】

C 07 C 31/125

B 01 J 29/65 Z

C 07 C 29/16

C 07 C 41/03

C 07 C 43/13 Z

C 07 C 305/06

C 07 C 305/10

C 11 D 1/14

C 11 D 1/29

C 11 D 1/72

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 28 日 (2004.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年9月28日



特 許 庁 長 官 殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第524301号

2. 補正をする者

名 称 シエル・インターナショナル・リサーチ・
マートスハツペイ・ベー・ヴェー

3. 代 理 人 東京都新宿区新宿1丁目1番11号 友泉新宿御苑ビル
(郵便番号 160-0022) 電話 (03) 3354-8623
(6200) 弁理士 川 口 義 雄



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 なし

6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲



8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する



[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. 炭素数 11～36 であって、1 分子当たりの平均分岐数が 0.7～3.0 であり、該分岐がメチル分岐およびエチル分岐を有してなる分岐一級アルコール組成物。
2. 1 分子当たりの平均分岐数が 1.0～3.0 である請求項 1 に記載の分岐一級アルコール組成物。
3. 1 分子当たりの平均分岐数が 1.5～2.3 である請求項 1 または 3 に記載の分岐一級アルコール組成物。
4. 4 級炭素原子を 0.5 原子%未満で有する請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の分岐一級アルコール組成物。
5. 直鎖アルコールを 5 %未満で含有する請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の分岐一級アルコール組成物。
6. 前記アルコールの分岐数の 40 %以上がメチル分岐である請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の分岐一級アルコール組成物。
7. 前記アルコールの分岐数の 5 %～30 %がエチル分岐である請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の分岐一級アルコール組成物。
8. 請求項 1 に記載の分岐一級アルコール組成物の製造方法であって、
 - a) 炭素数 10 以上の直鎖オレフィンを含むオレフィン供給原料を、該直鎖オレフィンの骨格での異性化を行って同一炭素数の分岐オレフィンを生成する効果を有する触媒と接触させる段階；ならびに
 - b) 該分岐オレフィンを、前記一級アルコール組成物に変換する段階を有してなる方法。
9. 前記骨格異性化触媒が、[001] 方向の x 面および／または y 面方向での結晶学的空隙径が 0.42～0.70 nm である 1 以上の流路を有するモレキュラーシーブを含有し、該モレキュラーシーブが好ましくはフェリエライトアイソタイプ構造を有するゼオライトである請求項 8 に記載の方法。
10. 炭素数 13～21 である請求項 1 に記載の分岐一級アルコール組成物の

別途製造方法であって、

a) 均一な二量化触媒の存在下に、 $C_6 \sim C_{10}$ オレフィンを含むオレフィン供給原料を二量化して、 $C_{12} \sim C_{20}$ 分岐オレフィンを生成する段階；ならびに

b) 該 $C_{12} \sim C_{20}$ 分岐オレフィンを前記分岐一級アルコール組成物に変換する段階

を有してなる方法。

11. 前記オレフィン供給原料が、直鎖オレフィンを90%以上含有する請求項10に記載の方法。

12. 前記オレフィン供給原料が、内部オレフィンを50%以上含有する請求項10または11に記載の方法。

13. 前記二量化触媒が、ニッケルカルボキシレートとアルキルアルミニウムハライドの組み合わせまたはニッケルキレートとアルキルアルミニウムアルコキシドの組み合わせを含有する請求項10ないし12のいずれかに記載の方法。

14. 段階b)での前記オレフィンのアルコールへの変換を、ヒドロホルミル化触媒存在下に、該オレフィンを一酸化炭素および水素でヒドロホルミル化することで行う請求項8ないし13のいずれかに記載の方法。

15. 請求項1ないし7のいずれかに記載の分岐一級アルコール組成物をオキシラン化合物と反応させることによって得られる分岐一級アルコールアルコキシレート組成物。

16. 前記アルコキシレートが主として、前記一級アルコール組成物をエチレンオキサイドと反応させることで得られるエトキシレートである請求項15に記載の分岐一級アルコールアルコキシレート組成物。

17. 請求項1ないし7のいずれかに記載の一級アルコール組成物を硫酸化することで得られる分岐一級アルキル硫酸エステル。

18. 請求項1ないし7のいずれかに記載の分岐一級アルコール組成物をアルコキシ化および硫酸化することで得られる分岐アルコキシ化一級アルキル硫酸エステル。

19. 請求項1ないし7のいずれかに記載の分岐一級アルコール組成物を酸化することで得られる分岐一級アルキルカルボン酸エステル。

20.

a) 請求項15に記載の分岐一級アルコールアルコキシレート、請求項17に記載の分岐一級アルキル硫酸エステルおよび請求項18に記載の分岐アルコキシ化一級アルキル硫酸エステルからなる群から選択される1以上の界面活性剤；

b) ビルダー；ならびに

c) 適宜に、発泡抑制剤、酵素、漂白剤、漂白剤活性化剤、蛍光増白剤、共ビルダー、ヒドロトロップおよび安定化剤からなる群から選択される1以上の添加剤

を有してなる洗剤組成物。

21. 前記ビルダーが、アルカリ金属炭酸塩、ケイ酸塩、硫酸塩、ポリカルボン酸塩、アミノカルボン酸塩、ニトリロトリ酢酸塩、ヒドロキシカルボン酸塩、クエン酸塩、コハク酸塩、置換および未置換のアルカン二カルボン酸およびポリカルボン酸、錯体のアルミノケイ酸塩ならびにそれらの混合物からなる群から選択される請求項20に記載の洗剤組成物。

22. 過ホウ酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、有機過酸およびそれらの混合物からなる群から選択される漂白剤を含有する請求項20または21に記載の洗剤組成物。

23. カルボン酸アミド、置換カルボン酸およびそれらの混合物からなる群から選択される漂白活性化剤を含有する請求項20ないし22のいずれかに記載の洗剤組成物。

24. 芳香族酸もしくはアルキルカルボン酸のアルカリ金属塩、アルカリ金属塩化物、尿素、モノもしくはポリアルカノールアミンおよびそれらの混合物からなる群から選択されるヒドロトロップを含有する請求項20ないし23のいずれかに記載の洗剤組成物。

25. 顆粒状洗濯洗剤、液体洗濯洗剤、食器用洗剤、石鹼、シャンプーおよび精練洗剤からなる群から選択される請求項20ないし24のいずれかに記載の洗剤組成物。